

6月は「ロータリー親睦活動月間」です

★来客紹介：ありません。

★会長報告：川口会長

- 大阪難波ロータリークラブ会員の皆様、こんにちは。6月10日例会休会による臨時報での会長報告をいたします。現在、6月15日に執筆しておりますが、大阪府の緊急事態宣言は、20日をもって府下全体でのまん延防止等重点措置に移行されそうな気配であります。24日の最終例会は何とか開催し、本年を締めくくりたいと思います。何卒、宜しくお願い申し上げます。
- さて本日の「ロータリアンの足跡」は、梁瀬次郎、東京RC第61代会長であります。あの自動車輸入のパイオニア、ヤナセの2代社長ですが、主な略歴は記載の通りであります。グラビアや雑誌での対談など随分と昔に見ましたが、経営者としての力量もさることながら、ファッションブルであり、我がクラブの北橋元会長を彷彿させます。吉田茂元首相の愛車、メルセデスベンツの写真も掲載しておりますが、吉田茂元首相から頂いた言葉「戦後、日本経済の復興のために輸出が奨励され、輸出が愛国心であるなら、輸入は国際心であることを学び、一生懸命に仕事に努力した」とスピーチされました。1ドルが360円であった時代に、外国車を輸入し続けた功績は如何に大き

かった事か。また国際心という言葉はロータリークラブの活動に通じるのではないのでしょうか。最後に梁瀬次郎の名言をご紹介します。『その人の幸せ、不幸せを決めるのは「でも」か「では」だ。40歳になって「今からでもできる」と思うか「今からでは無理」と諦めるかは、その人の10年後に大きな影響を及ぼす。』 梁瀬 次郎
これにて本日の会長報告を終わります。

★幹事報告：福田幹事

- 6月24日(木)13:30から、IM第4組吉崎ガバナー補佐、大谷ガバナー補佐エレクトをお迎えし、新旧合同クラブ協議会を開催する予定でございます。各委員長の方はご出席よろしくお願いたします。
- 7月1日(木)例会終了後、定例理事会を行いますので、次年度の理事役員の方はご出席ください。
- 次年度の活動計画をまだ提出しておられない委員長の方は、6月24日までに事務局までご提出宜しくお願い致します。

★委員会報告：ありません。

★ニコニコ箱報告：ありません。

★卓話：ありません。

ロータリーバーチャル国際大会

2021年ロータリーバーチャル国際大会は、6月12日(土)から16日(水)の日程で開催されました。リーダーによる交流会では、ホルガー・クナークRI会長、シェカール・メータ会長エレクト、ジェニファー・ジョーンズ会長ノミニ、ラビ・ラビンドラン財団管理委員長、ジョン・ジャーム管理委員長エレクトとの交流会が行われました。1時間の会合では、各リーダーが現在取り組んでいる活動内容やロータリーの未来についてお話いただき、Zoomでの質疑応答の時間も設けられました。

写真② 初の女性会長として指名されたジェニファー・ジョーンズ会長ノミニが、ご自宅のあるカナダからスピーチをされました。

写真③ ウガンダ出身の環境活動家ヴァネッサ・ナカテさんのインタビューです。今 気候危機に直面しているのは、脆弱性の高い一部の地域の人にとどまっています世界からは注目されていないと訴えておられます。

写真④・⑤ 2022年ロータリー国際大会は、米国テキサス州ヒューストンで開催されます。今すぐ登録・お支払いをしていただくと、プロモーション最大割引が適用されます。
(\$675⇒\$425この割引は6月16日までです) 文責：福田 忠

ジャーナリスト 門田 隆将 氏 講演会 「コロナが問う！日本の危機管理～基本に戻って未来へ～」

「ロータリー希望の扉プロジェクト-第1の扉-」の講演会の2つ目が、東大阪みどりロータリークラブ様がホストクラブとなり、ジャーナリスト門田隆将氏をお招きして6月12日(土)に開催されました。テーマとしては「コロナ」という事でしたが、お話頂いた内容を要約いたしますと「なさない日本」という内容のような手厳しいお話でした。今イギリスで開催されている先進7カ国(G7)首脳会議(サミット)では、中国共産党によるウイグル族への、収容所における拷問や迫害についても話し合われる予定ですが、日本はその、中国新疆ウイグル自治区や香港での人権侵害行為を非難する国会決議案を、立憲・国民民主、共産にいたるまで了承しているのに自公が阻止している。与党である自民・公明が実は“媚中勢力”であったという事や、コロナ対策については、厚労省は天下り先を受け入れてない富士フィルムなどが開発した治療薬などは中々承認しないなど、国民の命を第一には考えていない官僚の体制をお話なされました。そして、「ロータリークラブは社会の指導層です。指導層には国を動かす責任がある。ロータリークラブほどの団体なら、官僚や政府に申し出られる。」
「このままでは日本はダメだ、という事を分かってほしい。これからの日本を動かしてほしい。日本を救ってほしい。」と、熱く語られました。
1900年義和団の乱で北京駐在8か国の人々を、柴五郎中佐ら僅か500の日本兵が数万の敵から2か月守り抜き、そして英公使が礼節と勇気の日本人を讃え、これが日英同盟、日露戦争勝利に繋がっていったお話もされ、「日本人の誇りと責任感が失われつつある。どうか日本人の誇りを守って下さい。」とおっしゃられました。ご講演後、東大阪みどりロータリークラブ様から記念品として、ラグビーボールがパスにて贈呈されました。 文責：福田 忠



臨時理事会議事録

- 池畑邦弘会員の退会が承認された。
- 谷口会員、北橋会員ご推薦の長崎武氏が会員候補者として承認された。



ホルガー・クナークRI会長

②

③

④

⑤